



**Victorian Certificate of Education
2003**

SUPERVISOR TO ATTACH PROCESSING LABEL HERE

STUDENT NUMBER

Letter

Figures									
Words									

**JAPANESE
FIRST LANGUAGE**

Written examination

Tuesday 18 November 2003

Reading time: 9.00 am to 9.10 am (10 minutes)

Writing time: 9.10 am to 12.00 noon (2 hours 50 minutes)

QUESTION AND ANSWER BOOK

Structure of book

<i>Section</i>	<i>Number of questions</i>	<i>Number of questions to be answered</i>	<i>Number of marks</i>	<i>Suggested times (minutes)</i>
1	7	7	15	60
2	1	1	15	60
3	4	1	10	50
			Total 40	170

- Students are permitted to bring into the examination room: pens, pencils, highlighters, erasers, sharpeners, rulers and any printed monolingual or bilingual dictionary in one or two separate volumes.
- Students are NOT permitted to bring into the examination room: blank sheets of paper and/or white out liquid/tape.
- No calculator is allowed in this examination.

Materials supplied

- Question and answer book of 19 pages.

Instructions

- Write your **student number** in the space provided above on this page.
- Write all your answers in the spaces provided in this question and answer book.

At the end of the examination

- Hand in this question and answer book at the end of the examination.

Students are NOT permitted to bring mobile phones and/or any other electronic communication devices into the examination room.

This page is blank

SECTION 1: Listening and responding**Instructions for Section 1**

There are two parts in this section:

Part A: 5 marks

Part B: 10 marks

Answer Part A and Part B in JAPANESE.

The spaces provided give you an idea of how much you should write.

Part A

You will hear one text. It will be played twice. There will be a pause of about five minutes between the first and second playing of the text. You may make notes at any time.

Listen carefully to the text and then answer the questions in JAPANESE.

TEXT 1**Question 1**

田中さんがノーベル化学賞を受賞したことについて、人々が驚いた理由は何ですか。主な理由を二つ挙げなさい。

- _____

- _____

Question 2

田中さんは、ノーベル化学賞を受賞できた理由を、二つ挙げていますが、それは何と何ですか。

- _____

- _____

Question 3

淳二が最後に「汚名」という言葉を使っていますが、それは何を指していますか。

- _____

You may make notes
in this space.

Part B

You will hear one text. It will be played twice. There will be a pause of about five minutes between the first and second playing of the text. You may make notes at any time.

Listen carefully to the text and then answer the questions in JAPANESE.

TEXT 2**Question 4**

岡崎教授は何を研究していますか。 _____

Question 5

お小遣いの観念 (考え方) が、アメリカと日本でどう違うかを簡単に述べなさい。

アメリカ : _____

日本 : _____

Question 6

日本とアメリカの子供達で、お小遣いの使い道が共通しているものを三つ挙げなさい。

1. _____

2. _____

3. _____

You may make notes
in this space.

Question 7

日本とアメリカの子供の文化や社会生活の違いは、岡崎教授の調査の結果にどのように現れていますか。お小遣いの出所と使い道から例を四つ挙げ、日本とアメリカを比較して、インタビューの内容を、約 200 字にまとめなさい。

You may make notes
in this space.

**END OF SECTION 1
TURN OVER**

SECTION 2: Reading and responding

Instructions for Section 2

Total marks for this section: 15 marks

Read the two texts and then answer the question in 1000–1200 ji in JAPANESE.

You may make notes
in this space.

TEXT 1

成人式 工夫こらして今年はどうなる

1月の第2月曜日は「成人の日」。20歳を迎えた若者を主な対象に、各地でさまざまな催しが予定されています。「荒れる成人式」といわれ、このところ新成人とお行儀については今ひとつ評判が悪いのですが、さて、今年はどうなるでしょう。

そもそも「成人式」は、どうして始まったのでしょうか。日本では、元服制度などの名残^{なごり}から、戦前まで成人を祝う習慣が各地にありました。正式に「成人の日」が国民の祝日として定められたのは戦後間もない1948年です。

翌年、当時の文部省(現文部科学省)が、「大人になったことを自覚し生き抜こうとする青年を、祝い、励ます」という目的で、全国都道府県でお祝いの行事をするよう求めました。56年には「市町村や市町村教育委員会が主催するのが望ましい」と通知。これに基づいて市町村が成人式を開くようになったといわれます。

ただこの数年、その会場でトラブルや事件が続出しています。2001年1月、高知県では、来賓^{らいひん}の橋本大二郎知事がお祝いの言葉を述べ始めると、会場から手拍子と「帰れ」コールが。知事が「静かにしろ」「出て行け」と一喝しましたが、「お前が出て行け」などと言り返されました。

また高松市では、最前列で酒を飲んでいて新成人の一部が、あいさつしていた市長めがけてクラッカーを鳴らすなどし、ついに5人が逮捕されました。

挨拶短縮や自主企画 保護者連れで「子ども扱い」も

このような事件をきっかけに、全国で、自治体主催の成人式のあり方について、論議が湧き上がりました。朝日新聞社の世論調査では「もうやめたほうがいい」という声が「続けたほうがいい」という意見を上回りました。「マナーの悪い参加者がいる」「内容がつまらない」という声も多く、税金を使って式典を開く必要はない、といった批判まで寄せられました。

そうした中で、今年も成人式を行うことを決めた自治体では、さまざまな「工夫」をこらしています。新成人自身に企画や司会^{らいひん}をさせたり、来賓のあいさつの時間をぐっと短くしたり。警察官を増やして警備を強化するのはもちろん、式典の会場を分散して、若者同士が一か所に集まりにくくしたところもあります。「酒の持ち込み禁止」と事前にはがきで知らせたり、家族も招待して「保護者」の監視力を期待したりするなど、むしろ「子ども扱い」を強めた自治体もあるようです。

「学級崩壊が高校や大学レベルでも起きているのに、成人式だけ静かにできるわけがない」「そもそも若者とは、昔からうるさいものだ」。そんな意見も根強くあります。でも、式典とは、結婚式や葬式も含め、どれもある程度退屈なものです。それを承知で出席する以上、来賓^{らいひん}の話を静かに聞くことぐらいは、最低限のマナーでしょう。(「こどもアサヒ」21・01・2003)

You may make notes
in this space.

TEXT 2

成人式についてのいろいろな意見

2001年の大荒れの成人式以来、いろいろな意見が出されました。まず、成人式自体について二つの見方があることがはっきりしました。一つは自治体を中心になって大人になった青年を祝い励ます式典だという本来の見方、もう一つは税金で開く同窓会だという見方です。

新潟青陵大学の^{うすい}碓井真史さんは、「新成人大暴れの心理」(2001.1.12)で、大暴れした若者の心理は非行少年の心理に通じるものがあり、注目されたい、かまってほしい、しかし正当な方法で目立つだけの力はない。そんな時に手取り早く悪いことをして目立ちとうとする。目立ちたいという気持ちの底にあるものは、愛されたいという思いだ、と指摘しています。

そして、昔の青年たちは強い半人前意識を持ち、早く一人前の大人になりたいと思っていたが、今の青年たちは大人になることを望んではいない。そのような思いが最近の成人式の諸問題に関係しているのではないか。また、大人になることに喜びを感じられない社会を作ってしまった大人たちにも問題があるのではないか。それと同時に、一部の若者の目に余る行動だけをセンセーショナルに採り上げる、マスコミの報道のあり方にも責任があるのではないか、と指摘しています。

NHKのインターネットディベートで出た意見

2003年1月にNHKが行った「大人になれない若者たち」と題するインターネット・ディベートの〈成人式 いる？いない？〉では、次のような意見が出ました。

四人のゲストの一人、早稲田大学教授の吉村作治さんは、仙台市の成人式であいさつをした時の苦い経験から、「祝うことについては反対ではないが、今の成人式の形態は即刻やめるべきだ。今の20歳は成人していない、30歳が成人だ」とかなり厳しい意見を述べ、成人式は、近所の人にも集まってもらって、成人に達した若者を大人が祝ってあげる場にしたらどうか、と提案しました。

静岡市教育委員会教育部参事青少年課長の宮内勇さんは、成人式を主催する行政の立場から、人生の先輩が、新成人に対して、大人としての自覚と責任を伝えることが成人式の目的だ。大人のほうにも、自由と放任の区別がはっきりついていない面があり、本当の支援とは何かが分かっていない。大人とはこういうものだということを伝えるのが成人式の意義だ、という意見でした。

精神科医の香山リカさんは、(国が)税金を使って同窓会を開いてあげるのはおしゃれで素敵なサービスだと思う。行政側が発想を変えたらいいのではないかと提案しました。

全国的に新しい成人式のあり方が考えられている中で、新成人が自ら企画・運営する「成人の会」実行委員長の^{おぎ}荻原知幸さん(21歳)は、苦勞して会を企画していく段階で大人になるのはどういうことか分かる気がした。参加した成人の中で、けじめの点はともかくとして、暴れる人は皆無だった、と感想を述べました。

一般からは、メールで、次のような意見が寄せられました。

1) 女性 20 歳

私は今年の一月に成人式に出るはずの人間でしたが出ませんでした。私にとって成人式は、ただ着物を着て行くかどうかの違いがあるだけで、中学の同窓会と同じ。それなら同窓会に行けばいいと思ったからです。

2) 男性 19 歳

成人式ってことにみんなこだわりすぎると思います。今年成人式を迎える私にとって、成人式は同窓会のようなもので、みんなに会えるのがとても楽しみです。成人式で暴れる人も確かにいますが、そんな人はどこの祭りにも必ずいます。そんなつまらないことを議論するよりは、儀式や慣例などという堅苦しい考え方をせず、もっと楽に成人式を考えたらいいと思います。

3) 男性 32 歳

成人式とは、共同体・社会が、新成人をその成員として迎え入れることを公に示すために行われるものです。ですから、新成人のためのものではなく、共同体・社会全体のため、大人たちのために行われる儀式であるはずで、成人式に新成人しか参加しないのがおかしいのです。大人がもっと参加して、厳粛でも和やかでもいいですから、「成人として迎え入れる」儀式としてほしいと思います。

4) 女性 33 歳

成人というのは、親の保護などが無くなり、全て自分で責任を負わなければならない区切りであり、社会へと踏み出す第一歩です。自分はまだ子供、と言っても法律的には大人なのです。成人式は個人や家庭のモノではなく、社会のものだと思います。

5) 男性 33 歳

成人式自体は不要ですが、それでもするのなら、何かの授与式にしてしまえば滞りなく進みます。さしずめ選挙人登録式でしょうか。もちろん出席しなくても、登録証は市役所で受け取れますが、式を妨害するようでは、登録延期もやむを得ません。

Question 8

あなたは、地域コミュニティーの集まりで、若者を代表して、成人式についての意見を発表することになりました。ここに、成人式についての記事 (Text 1) と、メールで寄せられたものを含むいろいろな人の意見をまとめた記事 (Text 2) があります。両方の記事に、成人式の将来についての三つの主な意見が現れています。それを明確にし、公平に判断した上で、「成人式はどうあるべきか。高校生の提案」と題するスピーチの原稿を、自分の言葉で書きなさい。(長さ: 1000 字—1200 字)

You may make notes
in this space.

A large rectangular area containing a grid of 20 rows and 20 columns of small squares. Each square is defined by a dashed border, creating a grid for writing or drawing. The grid is empty.

SECTION 3: Writing in Japanese

Instructions for Section 3

Answer one question in JAPANESE.

Total marks for this section: 10 marks

Answer **one** question in 1400–1600 ji in JAPANESE.

Question 9

日本で日常見たり聞いたりするカタカナ語の数は急速に増え、政府の公文書に使われるカタカナ語だけでも 1200 語以上あります。中にはダイエット、レジャー、キャンペーンなど日本語の中に定着してしまった言葉もあります。しかし、はっきりした意味が分からないで使われていたり、高齢者には理解されにくい言葉も多くなっているのです。最近、政府はカタカナ語の言い換えを考えています。

カタカナ語が、ファッション雑誌や若い人たちの日常会話に多く使われるようになったのはなぜでしょうか？カタカナ語の利点と問題点を考えた上で、あなたの意見を語学雑誌に送る投稿記事として書きなさい。(長さ：1400 字—1600 字)

OR

Question 10

最近日本では、学級崩壊が小学校から高校に及び、社会的にも教育上でも大きな問題になっています。いじめや不登校も増え続けているようです。

この問題の原因はどこにあるのかを社会面・教育面から考えた上で、その解決策についてのあなたの意見を、レポートに書きなさい。そのレポートは、日本の学生新聞（毎週発行）の読者欄に発表する予定です。(長さ：1400 字—1600 字)

OR

Question 11

友達が、水中・陸上・空中、どこでも乗れる乗り物を発明しました。あなたは、その乗り物を試乗するために一週間の旅行に出かけ、性能報告を兼ねた旅行記を書いて、モーターマガジンに投稿するつもりです。その旅行記を書きなさい。(長さ：1400 字—1600 字)

OR

Question 12

ポッサムはオーストラリアの夜行性の保護動物ですが、最近都会の住宅地でポッサムの数が非常に増えて、大きな被害が出ています。人間は、いろいろな方法でポッサムを追い払おうとしますが、ポッサムのほうが一枚上手のようでどうにもなりません。

あなたは、ポッサムに同情しています。自分自身をポッサムの立場において、ある住宅の屋根裏に住むポッサムの目から見た、家族との生活や人間との生存競争の物語を書きなさい。その物語は、動物愛護協会の会誌に発表する予定です。(長さ：1400 字—1600 字)

You may make notes in this space.

Assessment Criteria

The extent to which answers demonstrate:

Section 1: Listening and responding

Part A

- the capacity to understand and convey general and specific aspects of texts

Part B

- the capacity to understand general and specific aspects of texts
- the capacity to convey information accurately and appropriately

Section 2: Reading and responding

- the capacity to identify and synthesise relevant information and ideas from the texts
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy, range and appropriateness of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)

Section 3: Writing in Japanese

- relevance, breadth and depth of content
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)
- range and appropriateness of vocabulary and grammar